



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第14号

令和3年11月5日発行

文責 校長 宮地 浩幸

文化祭（多くのご参観ありがとうございました）

10月30日（土）に文化祭を実施しました。今年の文化祭は、多くの島民の方に参観いただき子ども達にとっても大変張り合いがある学校行事となりました。校長は昨年度の4月に赴任してきましたがあいにくのコロナ禍であり、ほとんどの学校行事を島民の皆様にご参観いただける状況にありませんでした。いつも少し寂しいものになり、仕方ない事とは言え、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ところが、ワクチン接種、緊急事態宣言の解除など、感染者の数が少なくなってきたことで、徐々にですがようやくいろいろなことが元に戻ろうとしています。そのようなことで、今回文化祭を地域の皆様にも学校へおいでいただける機会として設定しました。

子ども達は、その状況を意識してか、特に上級学年の児童生徒は、準備の時から気合が入った対応をしてくれました。各学年の個人発表や音楽、ダンスの発表は授業の中での活動が中心でしたが、中学生が今年には是非劇を行いたいと担任の先生に申し出ました。昨年度と異なり今年は、小学校の低学年が多いので、昨年度は全く経験していないことをどのくらいできるか心配していた部分も多くありました。子ども達の出番が格段に増えたのです。そのため授業中はもとより、昼休みや放課後に至るまで練習を頑張った時期がありました。学校長として子ども達の過度な負担にならないか考慮しつつも、楽しく意欲的に頑張る子ども達の様子は疲弊するどころか、毎日活き活きしています。文化祭を迎えることで、まさに張りが出た状況になり、いい学びの機会になったと思います。

各発表について

小学校1・2年 国語暗唱

しっかり暗記をし、大きな声で堂々と発表ができました。加えて2年生は古典の内容でしたので、文章内容が耳慣れないものであったため難易度が上がっています。

小学校3・5年生

社会科、国語科における調べた内容を上手に報告するという課題の発表です。調べ学習についてはPCを使っただけのネット検索が主流ですが、実際に現地取材をして、報告書を作りました。学習指導要領の表現する力を発揮したものです。

中学2年生

理科研究発表会で行ったもの。全国スピーチコンテストでエントリーしたものの。職場体験の報告など本校の最上級生として、範を示すような発表でした。

児童生徒全員による音楽発表

SDGsを意識して、手話を交えた合唱を行いました。手話を覚えるのが難しく、大変でしたが時代のニーズに乗り、しかも本年度の子ども達の年齢構成にも合った内容だったと思います。

児童生徒全員によるダンス

特別非常勤講師の小野先生が子ども達の年齢構成に合わせて、創作してもらいました。練習の回を重ねるごとに子ども達もノリノリで、本番もアンコールをかけていくくらい上手にできたと思います。

児童生徒全員と職員による劇

台本、脚本、監督まで上級学年の児童生徒で行いました。劇の内容には、島への思い、領土問題、人権の問題やこれまでにいらっしやった先生方への心遣いまでありなかなかなか上手に考えたものだと感じました。また、少しお笑いの要素も取り入れて、見る人に喜んでもらおうとする配慮もありました。このよ

うなことは学校教育だけではできるところではありません。家庭教育、地域の教育などいろいろなことがその学びの支援をしているのだろうと感心させられます。



個人発表（中学生）



個人発表（小学生）



ダンス



劇（1）



劇（2）



閉会セレモニー

今回の文化祭を通して、子ども達の頑張りにおどろかされるばかりでした。これは日頃から、子ども達の学校生活において、何でも一生懸命に頑張るといふ姿が反映されているものと考えます。校長はいつも「加唐小中学校の児童生徒としての自覚と誇りをもって行動しましょう。」と伝えています。

文化祭でもそれを実践してくれた結果となったことに喜びを感じるとともに、私たち学校職員も加唐小中学校に勤務することの自覚と誇りをもって、今後も教育活動にあたりたいと思います。